

令和3年度 NPO 法人新治里山「わ」を広げる会 事業報告(総括)

事業内容
1. 新治里山公園 指定管理業務 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により、「緊急事態宣言」「まん延防止等重点措置」が数回発令されたが、段階を踏んで対処した。室内利用を再開、しかし和室の扱いについては今だ解決できていない。 5年に一度の「指定管理第3者評価」が行われた。視察・書類審査・面接等により「A」ランクをいただいた。
2. 新治里山公園運営プロジェクト ・プロジェクト登録メンバー数は54人。(7人減) ・毎月第一日曜日に運営プロジェクト企画会議を9回実施。(2回中止、11月は秋まつり実施) ・6月のプロジェクト会議の後、部会担当でPJ報告会をおこなった。 ・秋まつりを11月におこない、部会ボランティア、さらには地域との連携を深めることができた。 ・室内イベントや飲食を伴うイベントの多くが中止となったが、感染予防対策に十分配慮しながら野外イベントの開催、お琴・おはなし会は再開した。
3. ウェルカムセンター運営業務 ・エントランスでのコンシェルジュ対応を週1回程度再開。 ・「森に親しむ・学ぶ行事の開催」については、市民参加型生きもの調査、学校連携行事、ほかの森紹介(出張観察会および展示)、「にいはる自然じかん」の4カテゴリーとして実施した。 ・市民の森でのマナー啓発について看板製作、リーフレット配布等を行った。 ・植物の希少種保全のため自然観察IP部会と「のの花カルテ」の製作を行った。 ・新治市民の森保全管理計画定例会(月1回)の事務局を担い、関連団体間調整なども対応した。
4. 谷戸田の保全活動(谷戸田を守る会) ・田んぼ11枚で、黒米、もち米、うるち米を作付。農薬・化学肥料を使わず、畝間をあけるなどの工夫を行った。草取りが追いつかず今年もコナギが繁茂した。 ・田んぼ体験のイベントを実施。田植えと稲刈りを行った。8組21名。 ・横浜市森づくりボランティア団体登録等、事務局業務の支援を行った。 ・ツチガエルの保全活動に協力、繁殖センターより放野された後、見られたら報告をした。
5. 新治恵みの里発展会 朝市運営補助業務 ・春、夏の端境期を除き、41回開催された。
6. 梅田川 水辺の楽校協議会への参加、運営協力 12/4 梅田川遊水池のかいぼりと生きもの調査への協力。今後の協議会運営について組織編制等の提案を行った。
7. わつなぎパーク事業 関係団体等で集まって意見交換をすることはできなかったが、青少年みどり遊楽舎(森のクラフト)や里山会(元気づくりステーション)、恵みの里発展会(栽培収穫体験)などがイベント再開。また、みどりアートパーク主催の「土で絵を描くワークショップ」にプログラム協力をした。 ※新治市民の森愛護会、一本橋メダカ広場水辺愛護会は、日常的な連携関係にある団体のため、わつなぎパーク事業としていない。

◆十日市場地区連携

- ・とおかいちば・まちづくりスクール 十日市場アニマルズを探せ！ 展示による参加協力。
- ・ドレッセ十日市場(グリーンバトン倶楽部)
マンション内のコミュニティガーデンの手入れについてレクチャーと苗の提供などを行った。

◆学校連携

- ・十日市場中学校地域交流事業については、例年行われていた夏・冬ボラは中止。
- ・新治小学校 5 年生 学校田んぼの支援を 5 月～11 月にかけて実施(ウェルカムセンター関連業務)。
- ・「むかしの暮らし」学習として 5 校 428 名の受け入れ(1 校が中止。ウェルカムセンター関連業務)。
- ・シュタイナー学園には縄ない等のプログラム提供、里山保全活動ボランティア受入れ。
- ・そのほか、まちたんけんや森・川歩きに関する事など情報提供、施設利用等を実施。